

第3次野洲市子どもの読書活動推進計画 進捗管理シート【令和2年度】

		シート1 図書館	シート2-1 図書館	シート2-2 図書館
基本方針		①子どもが読書に親しむ機会の提供と諸条件の整備・充実	①子どもが読書に親しむ機会の提供と諸条件の整備・充実	①子どもが読書に親しむ機会の提供と諸条件の整備・充実
方針		1 家庭における子どもの読書活動の推進	2 地域における子どもの読書活動の推進	2 地域における子どもの読書活動の推進
取組名		4か月健診時にブックスタート事業によって子どもと本をつなぐ働きかけと保護者への啓発の実施	野洲図書館における子どもの読書活動の推進	野洲図書館における子どもの読書活動の推進
目指す成果		子ども1人当たり児童図書貸出冊数(年間)	子ども1人当たり児童図書貸出冊数(年間)	子ども1人当たり児童図書貸出冊数(年間)
達成数値・率	令和2年度			
	令和3年度			
	令和4年度			
	令和5年度			
	令和6年度	28冊/人	28冊/人	28冊/人
検証項目		①PTAや保護者会に働きかけを行い、読み聞かせやおはなし会などへの参加を促す。 ②読書の重要性について保護者への理解を促進するため、「ブックスタート事業」を継続する。 ③子どもや保護者に向けて成長・発達に応じた図書の情報を積極的に発信する。	①児童向けやヤングアダルト向け資料の整備・充実を図る。 ②司書の配置と司書の専門的知識・技術の研鑽と向上を図る。 ③市内幼稚園・保育園・こども園、小・中・高等学校への情報提供、団体貸出や学校への出張貸出を行う。 ④新着資料・図書館行事等をHPで公開するなど、情報化を推進する。 ⑤入手が困難な資料についても他の公共図書館等より借用して提供する。	①子どもと本の出合いの場を提供するため、読書に関する催しを実施する。関係機関、ボランティア団体等との連携を図りながら、おはなし会や講座等の図書館行事を開催し、読書および図書館利用の普及に努める。 ②児童図書に関するレファレンス・読書相談の充実を図る。 ③障がいのある子どもへの図書館サービスの充実を図るため、大活字本やバリアフリー図書など、障がいの特性に応じた資料の提供に努める。また、図書館への来館が困難な子どもに対して郵送や宅配により資料を届けるサービスの利用普及を図る。 ④特別支援学級や養護学校等において、読み聞かせを行い、本に親しむ機会を増やす。 ⑤日本語を母語としない子どもが読書に親しむことができるよう、外国語図書の提供に努める。 ⑥地域の需要に応じてコミュニティセンター等へ出向き、おはなし会の実施や読み聞かせの方法についての助言などを行う。また、子どもと本に関する講演会を継続して行い、啓発に努める。 ⑦子どもの読書活動に関わるボランティア団体等に必要な助言を行う。 ⑧ボランティア活動の機会と場を提供し、学校・園の需要に応じて読みきかせ活動に積極的に参加できる体制確立を図る。 ⑨民間団体に対する様々な助成金制度の情報を提供する。
実績結果	目標	赤ちゃんの保護者に啓発を行い、赤ちゃんからの読み聞かせが大切であることを伝えて理解してもらう。	幼い子どもは大人に本を読んでもらい、その後、自分で読書を楽しめるようになること。子どもが読みたい本を読み、調べたいことを調べることができて、興味の幅を広げて可能性を広げ、自分で判断できるようになること。	幼い子どもは大人に本を読んでもらい、その後、自分で読書を楽しめるようになること。子どもが読みたい本を読み、調べたいことを調べることができて、興味の幅を広げて可能性を広げ、自分で判断できるようになること。
	経費	50万円	資料費 合計約855万円 内訳:(当初予算)約330万円(国交付金)約525万円	資料費(子供向け外国語資料 バリアフリー図書)約30万円(2月末現在の予定)
	実績	277人(2月19日現在)	図書館の蔵書の整備を図るとともに、国交付金で小学校向け学級文庫用図書セット用の資料を購入して2月から小学校のすべてのクラスに設置・巡回開始。	開催できない集会形式の行事の代わりに子どもの本に関する展示を4回開催。国の交付金を使い、外国語資料、バリアフリー図書を購入。図書館の障がい者サービスについてのPRイベントを開催。
	課題等	今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、乳幼児健診の場でのブックスタート事業ができず、引換券を渡して図書館に来館してもらい実施する形式をとっている。検診後に来館しない人もあり、実績がおちている。	今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、図書館での行事等や学校でのブックトーク等の事業が例年のようにできなかった。	今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため子どもと本についての講演会が開催できなかった。お話し会はボランティア実施分も含め一時停止し、職員実施分のみ予約制として再開。感染症の影響もあり利用状況も例年より少ない。
	評価	実施できた保護者からの反応と評価は高い。	学級文庫セット事業の評価は今後の利用状況をみて判断。	展示は好評で、同じ展示を小学校で開催することにつながった例もある。外国語資料とバリアフリー図書は国の交付金のおかげでまとまった数を購入することができたため、図書館利用をPRできる。

方向性の判断改善案等	保護者のアンケートからも、絵本配布がなければ家庭に絵本がない世帯が多いことと、保護者の意識に対する啓発の有効性は確認できており、継続する方向性。感染症が終息すれば健診の場での実施に戻し、実施率をあげる。	本を読むことは子どもが健やかに成長するために重要なことであり、そのための環境整備と取組みを継続していくことが必要。今年度のように今後も状況に合わせて柔軟に取り組みを工夫し改善していく。	子どもが健全に成長するために必要な施策であるため、継続して取組みを工夫し、必要な資料を整備していくことが必要である。
------------	---	--	--

第3次野洲市子どもの読書活動推進計画 進捗管理シート【令和2年度】

		シート3 こども課	シート4-1 学校教育課	シート4-2 学校教育課
基本方針		②家庭・地域・学校・園を通じた社会全体での取組みの推進	②家庭・地域・学校・園を通じた社会全体での取組みの推進	②家庭・地域・学校・園を通じた社会全体での取組みの推進
方針		3 学校・園等における子どもの読書活動の推進	3 学校・園等における子どもの読書活動の推進	3 学校・園等における子どもの読書活動の推進
取組名		幼稚園・保育園・こども園・子育て支援センター等における子どもの読書活動の推進	小・中学校における子どもの読書活動の推進(小学校)	小・中学校における子どもの読書活動の推進(中学校)
目指す成果		園児1人当たり蔵書冊数	子どもの読書活動に関する調査における不読率	子どもの読書活動に関する調査における不読率
達成数値・率	令和2年度			
	令和3年度			
	令和4年度			
	令和5年度			
	令和6年度	15冊/人	2%	15%
検証項目		① 資料、設備の整備・充実を図る。乳幼児が絵本や物語に親しみを感じられるように、興味・関心、発達段階等に応じた絵本等を整備するよう努める。 ② 絵本や紙芝居等に親しむ機会を提供する。絵本や紙芝居等との出会いの重要性を家庭にも伝え、保護者やボランティア等の協力を得て、絵本の読みきかせや紙芝居の実演等の開催、絵本の貸出などを行う。 ③ 教諭・保育士の理解と技能の向上を図るため、講習会や情報交換の場に参加する。乳幼児が絵本や物語などに親しめるよう、講習会や研修会への積極的な参加を促し、研修等を通じて教諭・保育士の理解と技能を高めるよう推進する。 ④ 図書館と連携を図る。図書館により実施されている子どもの発達段階や季節に応じた選定図書の活用や、園でのおはなし会の開催、また、図書	① 長期的なビジョンに立ち、子どもの読書活動や学習に役立つ学校図書館づくりを進める。 ② 各教科等の年間指導計画に学校図書館の活用や読書活動を位置づけ、全校的な取組みを行う。 ③ 司書教諭が核となって計画する全校的な読書活動について、すべての教職員が共通した目的や意識を持って実施するように努める。 ④ 児童生徒の読書に親しむ態度を育み、読書習慣を身に付けさせるため、朝の読書活動をはじめとする集団読書や読みきかせ等の取組みに努め、日常的な読書活動へ発展していくように読書指導を進める。 ⑤ 学校図書館の活用方法や読書の楽しさを啓発し、利用を促す。 ⑥ 図書館ボランティア、読書ボランティアや学校応援団等の協力を得ながら学校図書館の充実を図る。	① 長期的なビジョンに立ち、子どもの読書活動や学習に役立つ学校図書館づくりを進める。 ② 各教科等の年間指導計画に学校図書館の活用や読書活動を位置づけ、全校的な取組みを行う。 ③ 司書教諭が核となって計画する全校的な読書活動について、すべての教職員が共通した目的や意識を持って実施するように努める。 ④ 児童生徒の読書に親しむ態度を育み、読書習慣を身に付けさせるため、朝の読書活動をはじめとする集団読書や読みきかせ等の取組みに努め、日常的な読書活動へ発展していくように読書指導を進める。 ⑤ 学校図書館の活用方法や読書の楽しさを啓発し、利用を促す。 ⑥ 図書館ボランティア、読書ボランティアや学校応援団等の協力を得ながら学校図書館の充実を図る。
実績結果	目標	絵本等の蔵書や絵本に触れる環境を整え、子どもたちがお話や絵本に親しみ、楽しさや面白さを十分に感じ、読書活動の基礎力を築いていく。	学校図書館の蔵書を把握し、資料として古くなった図書の廃棄や蔵書、書架の整理整頓を行い必要な図書を充実させるとともに、児童、生徒が来館したい学校図書館を作る。	学校図書館の蔵書を把握し、資料として古くなった図書の廃棄や蔵書、書架の整理整頓を行い必要な図書を充実させるとともに、児童、生徒が来館したい学校図書館を作る。
	経費		なし	なし
	実績	園児一人当たりの蔵書数は目標の15冊を上回った。図書館からの配本サービスは、園の蔵書にないものも多く、読み聞かせに大変活用できた。	学校図書館担当教員(司書教諭免許保持者)や図書館ボランティアが協力して、蔵書の整理、書架の整理整頓を行い、児童生徒にとって親しみやすい学校図書館をつくってきた。	学校図書館担当教員(司書教諭免許保持者)や図書館ボランティアが協力して、蔵書の整理、書架の整理整頓を行い、児童生徒にとって親しみやすい学校図書館をつくってきた。
	課題等	園児一人当たりの蔵書数は目標を上回ったが園の差はあり、園児数が多い園は一人あたりの数は少なくなってしまう。幼児期に本を楽しむために、安心して読書ができる場所を提供できるよう、環境の工夫も必要である。	学校図書館担当教員(司書教諭免許保持者)は他の仕事との兼務であるため、学校図書館の仕事に専念できない。	学校図書館担当教員(司書教諭免許保持者)は他の仕事との兼務であるため、学校図書館の仕事に専念できない。

評価	子どもたちに与えたい絵本を精査し購入しながら活用しているが、図書館の配本サービスにより、園にはない絵本などがあり、職員の教材研究に役立てることができた。園の蔵書は限られているので、そのようなサービスなどを活用し子どもたちの興味・関心・発達段階に応じた絵本を適切に与えることができ	昼休み等の休み時間での児童の利用状況を調査する機会を設けて評価する必要がある。	昼休み等の休み時間での児童の利用状況を調査する機会を設けて評価する必要がある。また、生徒による図書委員会の活動状況についても、評価する必要がある。
方向性の判断改善案等	園児数が多い園は、一人当たりの蔵冊数は少ないが、日頃から絵本と親しめる環境を整え、子どもたちに絵本との出会いが豊かに行えるよう、職員間で園での読書活動について共通理解を図り取り組んでいく。	上記の目標は今後も継続する必要がある。	上記の目標は今後も継続する必要がある。

活動推進計画 進捗管理シート【令和2年度】

		シート4-3 こども課	シート4-4 学校教育課
基本方針		②家庭・地域・学校・園を通じた社会全体での取組みの推進	②家庭・地域・学校・園を通じた社会全体での取組みの推進
方針		3 学校・園等における子どもの読書活動の推進	3 学校・園等における子どもの読書活動の推進
取組名		幼稚園・保育園・こども園・子育て支援センター等における子どもの読書活動の推進	小・中学校における子どもの読書活動の推進(小学校)
目指す成果		読書活動においてボランティア等と協力している校・園の割合	書活動においてボランティア等と協力している校・園の割合
達成数値・率	令和2年度		
	令和3年度		
	令和4年度		
	令和5年度		
	令和6年度	83%	83%
検証項目		① 資料、設備の整備・充実を図る。乳幼児が絵本や物語に親しみを感じられるように、興味・関心、発達段階等に応じた絵本等を整備するよう努める。 ② 絵本や紙芝居等に親しむ機会を提供する。絵本や紙芝居等との出会いの重要性を家庭にも伝え、保護者やボランティア等の協力を得て、絵本の読みかせや紙芝居の実演等の開催、絵本の貸出などを行う。 ③ 教諭・保育士の理解と技能の向上を図るため、講習会や情報交換の場に参加する。乳幼児が絵本や物語などに親しめるよう、講習会や研修会への積極的な参加を促し、研修等を通じて教諭・保育士の理解と技能を高めるよう推進する。 ④ 図書館と連携を図る。図書館により実施されている子どもの発達段階や季節に応じた選定図書を活用や、園でのおはなし会の開催、また、図書	① 長期的なビジョンに立ち、子どもの読書活動や学習に役立つ学校図書館づくりを進める。 ② 各教科等の年間指導計画に学校図書館の活用や読書活動を位置づけ、全校的な取組みを行う。 ③ 司書教諭が核となって計画する全校的な読書活動について、すべての教職員が共通した目的や意識を持って実施するように努める。 ④ 児童生徒の読書に親しむ態度を育み、読書習慣を身に付けさせるため、朝の読書活動をはじめとする集団読書や読みかせ等の取組みに努め、日常的な読書活動へ発展していくように読書指導を進める。 ⑤ 学校図書館の活用方法や読書の楽しさを啓発し、利用を促す。 ⑥ 図書館ボランティア、読書ボランティアや学校応援団等の協力を得ながら学校図書館の充実を図る。
目標		他機関と連携しながら、本に親しめる環境を整えたり、読み聞かせの実演等に取り組む、発達段階に応じた絵本や物語に親しむ中で乳幼児が興味・関心を高めその楽しさを感じられるようにする。	学校図書館の蔵書を把握し、資料として古くなった図書の廃棄や蔵書、書架の整理整頓を行い必要な図書を充実させるとともに、児童、生徒が来館したい学校図書館を作る。
経費			なし
実績		今年度はコロナ禍であり、例年よりPTAやボランティア活動の読み聞かせの機会が自粛傾向にあったが、感染対策を徹底し、地域や中学生ボランティア等が絵本の読み聞かせやミニお話を開催された園もあった。また、読み聞かせは自粛し	図書館ボランティアが協力して、蔵書の整理、書架の整理整頓を行い、児童生徒にとって親しみやすい学校図書館をつくってきた。
実			

実績結果	課題等	コロナ禍でボランティア活動は各園自粛傾向にあったが、園によって取り組みの差はあった。今後、しばらくはこの状況が続くと考えられる中、子どもたちが楽しみにし、絵本やお話が楽しいと感じられる取り組みや環境づくりについて工夫が必要な面があると考え。	図書館ボランティアの協力なくしては、進んでいかない実態がある。
	評価	例年になく状況であったが、読書活動においてボランティアとの協力はできた。(読み聞かせは自粛傾向であったが、絵本の整備や修理をボランティアで行っていただけ。)	図書館ボランティアからの評価を求めていく必要がある。
	方向性の判断改善案等	今年度はコロナ禍のため、読み聞かせなど難しい点もあったが、それに代わるようなやり方(園内での読み聞かせの充実)を考えたり、感染防止対策を講じながら安全に開催ができる方法を考えていくなど取り組みを考えていくことも必要ではないか。また、一方でこの機会に、絵本環境の整備に力を入れて	上記の目標は今後も継続する必要がある。

第3次野洲市子どもの読書活動推進計画 進捗管理シート【令和2年度】

		シート4-5 学校教育課	シート5-1 学校教育課	シート5-2 学校教育課
基本方針		②家庭・地域・学校・園を通じた社会全体での取り組みの推進	①子どもが読書に親しむ機会の提供と諸条件の整備・充実	①子どもが読書に親しむ機会の提供と諸条件の整備・充実
方針		3 学校・園等における子どもの読書活動の推進	2 地域における子どもの読書活動の推進	2 地域における子どもの読書活動の推進
取組名		小・中学校における子どもの読書活動の推進(中学校)	小・中学校における子どもの読書活動の推進(小学校)	小・中学校における子どもの読書活動の推進(中学校)
目指す成果		書活動においてボランティア等と協力している校・園の割合	学校図書館図書標準達成率(達成校)	学校図書館図書標準達成率(達成校)
達成数値・率	令和2年度			
	令和3年度			
	令和4年度			
	令和5年度			
	令和6年度	83%	100%(6校)	100%(3校)
検証項目		① 長期的なビジョンに立ち、子どもの読書活動や学習に役立つ学校図書館づくりを進める。 ② 各教科等の年間指導計画に学校図書館の活用や読書活動を位置づけ、全校的な取組を行う。 ③ 司書教諭が核となって計画する全校的な読書活動について、すべての教職員が共通した目的や意識を持って実施するように努める。 ④ 児童生徒の読書に親しむ態度を育み、読書習慣を身に付けさせるため、朝の読書活動をはじめとする集団読書や読みきかせ等の取組に努め、日常的な読書活動へ発展していくように読書指導を進める。 ⑤ 学校図書館の活用方法や読書の楽しさを啓発し、利用を促す。 ⑥ 図書館ボランティア、読書ボランティアや学校応援団等の協力を得ながら学校図書館の充実を図る。	① 学校図書館の蔵書を把握し、必要な図書等の資料を充実させ、「学校図書館図書標準」の達成に努める。併せて資料として古くなった図書の廃棄を進める。 ② 児童生徒にとって魅力のある学校図書館になるように図書館内の環境整備を進める。 ③ 学級文庫の設置を進めるなど、身近に本を手にとることができる読書環境を作る。 ④ 学校図書館の運営にあたっては、司書教諭が十分な役割を果たすことができるよう、図書館ボランティア等の協力を得て、常に人がいる学校図書館の実現を目指す。 ⑤ より充実した読書指導ができるよう、読みきかせ、ブックトークなどの読書指導方法を教員等が研修する。	① 学校図書館の蔵書を把握し、必要な図書等の資料を充実させ、「学校図書館図書標準」の達成に努める。併せて資料として古くなった図書の廃棄を進める。 ② 児童生徒にとって魅力のある学校図書館になるように図書館内の環境整備を進める。 ③ 学級文庫の設置を進めるなど、身近に本を手にとることができる読書環境を作る。 ④ 学校図書館の運営にあたっては、司書教諭が十分な役割を果たすことができるよう、図書館ボランティア等の協力を得て、常に人がいる学校図書館の実現を目指す。 ⑤ より充実した読書指導ができるよう、読みきかせ、ブックトークなどの読書指導方法を教員等が研修する。
目標		学校図書館の蔵書を把握し、資料として古くなった図書の廃棄や蔵書、書架の整理整頓を行い必要な図書を充実させるとともに、児童、生徒が来館したい学校図書館を作る。	学校長や園長、学校図書館の担当教員から聞き取りを行い、各学校、園における読書活動の取組や学校図書館、園の書架の実情等を調査する。	学校長や園長、学校図書館の担当教員から聞き取りを行い、各学校、園における読書活動の取組や学校図書館、園の書架の実情等を調査する。
経費		なし	なし	なし

実績結果	実績	図書館ボランティアが協力して、蔵書の整理、書架の整理整頓を行い、児童生徒にとって親しみやすい学校図書館をつくってきた。	実際にはほとんどできていない。	実際にはほとんどできていない。
	課題等	図書館ボランティアの協力なくしては、進んでいかない実態がある。	各校の実情に任せてしまっている。	各校の実情に任せてしまっている。
	評価	図書館ボランティアや生徒会(図書委員会)からの評価を求めていく必要がある。	まったくできていない。	まったくできていない。
	方向性の判断改善案等	上記の目標は今後も継続する必要がある。	聴き取り調査を実施する必要がある。	聴き取り調査を実施する必要がある。